

世田谷ケアマネジャー連絡会役員会議事録

日 時	令和 4 年 9 月 27 日 (火) 19 : 00 ~ 21 : 00
開催場所	ZOOM にて
出席者	相川、佐藤、斉藤、川上、森川、花尾、一宮、安藤、横田 安田係長、鈴木係長 (敬称略、順不同) 書記 : 花尾 (欠席 : 渡部・新居・渡部)

1、区からの報告、連絡等情報共有 (安田係長より)

- ・鈴木係長の参加は前回まで。今後は安田係長が参加。
- ・11/25 主任部会研修、各総合支所保健福祉課係長の参加確認中。
- ・新型コロナ関連：事業所内で感染者発生時のかかりまし経費の補助は今年度も継続予定。
近日中に伝達を予定。
- ・エネルギー価格、物価高騰による区内事業所への給付金支給について準備をしている。
第三回区議会定例会で承認が得られれば、地方臨時特別交付金の財源を元に補助が出る。
11月初旬開始を予定。準備が整い次第連絡が入る事となる。

質問：前回の感染予防での支給とは別か？

回答：昨年度は補助金（実際にかかった費用に対する補助）、今年度は給付金であるため用途を指定しているものではなく、事務所運営にかかる年額一律金額の支給となる。居宅：25000 円/年
訪問入浴：一車両 30000 円 通所事業所：利用定員一人に対して 35000 円

質問：通所先の対象は？看多機は入るか。

回答：入る。18人利用の場合は18人×35000円

質問：定期巡回、訪問介護と併設している際はそれぞれ支給対象か。

回答：それぞれが支給対象。

質問：消毒費用は今回の給付費に含まれるのか。

回答：エネルギー価格、物価高騰による給付金のため、感染対策は別に（昨年度と同じく）支給。

質問：この情報は事業所への情報提供をしても良いか。

回答：議会内容としてホームページでも確認ができる。しかし早めに全体周知（すると問い合わせが入ってしまうため、できれば通知を出してからのご案内を希望。

- ・東京都介護職員宿舎借上げ事業。（災害発生時に迅速に対応が行えるよう）介護職員の家賃補助。対象者：区と災害時協定を結ぶ必要がある。対象事業所へは F A X 済み。
居宅介護支援事業所も対象。

2、各種委員会報告

①研修部会

- ・10/28：会場：砧、烏山、1/27：玉川の2会を対面式で行う。詳細が決まり次第報告します。

内容「ケアマネジメントプロセス」

コロナ感染状況に合わせ Z O O M 開催に切り替えを行う。

②主任部会

- ・11/25 開催が決まる。会場：三茶オリオン。
- ・各支所の係長に参加をして頂く。今後、詳細が決まり次第連絡を行う。案内は10月後半か11月初めに案内を行います。

②施設部会

- ・第三水曜 18:30～打合せ。第三回目。参加者10人前後。
- ・意見交換内容：他の施設のケアプランを見たいとの意見があり、今回はグループホームのプランを共有した。
 - i) 本人主体のプランが作れるか。介護度が高いと本人の意向が聞けない。
 - ii) スタッフと共有が出来ていない。どうすれば共有ができるか。上記2点がテーマ。次回は特養プランをもとに検討行う。

3、協力員について

新規登録者：居宅介護支援センターさくら 水下さん、ベネッセ経堂 森さん、

主任部会希望：SOMP Oケア世田谷 玉井さん、山口ケアサービス 山口さん、居宅介護支援センターさくら 水下さん

部会希望無し：ソフィアケアプラン二子玉川 原田さん、ホームアレーケアプラン 平野さん、ケアステーションかたらい成城 岡さん、グレイブスライフ 関さん、ベネッセ経堂 森さん

【協力員今後の活動について】

- ・研修組み立て等を一緒に検討する事は、実質難しさがある。実務的な部分から入ってもらってはどうか。
- ・規約には役員は運営に積極的な参加をした協力員とある。あらかじめ活動を制限してしまうのはどうか。
- ・各部会で活動内容のラインを作るか、連絡会としてラインを作るか。
- ・役員は研修企画（運営）と現場の職員と考え方の乖離がでてしまう事は避けたい。研修企画から入ってもらってはどうか。
- ・協力員の中では研修手伝いのみを希望している場合もあれば、積極的に参加をしたい人もいる。
- ・今後のマンパワー（人員）を考えると人を確保する必要がある。
- ・役員が研修準備をしているが、負担が過多になっている。協力会員の協力が必要では。
- ・主マネ部会は以前、研修企画で参加をしてもらった。話しの方向性のずれは出てしまう事もあったが、人となりを知る為にも、一緒に検討をする機会が必要。各部会共通の参加内容を定める方が良い。活動を通して役員に推薦も検討しては。
- ・職能団体の規模。世田谷区は居宅数が多いが加入は1/4程度。会員同士のつながり（互助機能）の場として、協力員の参加を拒む事はしたくない。施設部会はメンバーから協力員の参加が難しい事もあり、連絡会から選出した協力員と取り組みたい。選定はしたくない。
- ・他区では施設部会が無い。ケアマネ更新研修でも施設が焦点化される機会も少ない。次の世代でリードをとってくれる人が見つかりにくいという課題がある。
- ・以前（花尾が参加をした時）は協力員に希望を役員会で検討をして、部会に振り分け、協力員に参加となった。
- ・協力員は部会毎に分けるのか。以前は分けていなかった時期もあったのでは。

- ・適材適所がある。施設部会は施設経験があると良い。
- ・全体を通して：協力員にも（運営から）積極的に参加として欲しいとの意見が多数。今年度の取り組みは部会に分ける。協力員の振り分けは佐藤副会長が選任を行い、各部会へ相談。

4、訪問看護管理者会での研修について

- ・コロナ禍で中断をしていたが、再開予定。研修準備は訪問看護管理者会で行う。
- ・日時：10月21日（金）
- ・開催方法：ZOOM。訪問看護60名、ケアマネ40名を定員としたい。
- ・内容：管理者会で検討している。どのような検討をしたいか意見があれば募集中。
- ・以前は保健医療福祉推進課の関わりがあったため、再度管理者会に区の関わりがあった事を伝える。

5、広報について

- ・三役、川上役員で検討を行った。「委員会報告書R4/9/6」参照。
- ・広報をタイムリーに更新するためには、役員全員の協力が必要。
- ・意見：以前は活動報告を提出していた。いつの間にか行わなくなっていた。毎月の報告書は負担が大きい。
- ・今後の活動については、継続的に検討をして役員会に相談を行います。

6、その他

- ・役員会の運営について：半年の計画として取り組む。
4つの項目として案の作成をした。来月の役員会で検討を行う予定。

次回役員会日程：10月25日（火）開催時間 19:00～ ZOOM 予定。